

歯ッピースマイルクラブ

Happy smile club

[特集]

口腔ケア時の
リスクマネジメント
～摂食・嚥下障害～



好評連載中

- おしごと拝見!! 〈松戸市・あおぞら診療所〉
- 〈まんが〉満足度を高める接客のヒント
「訪問口腔ケアの際にはご家族とのコミュニケーションも大切に」

2015
Spring
vol. **21**

口腔ケア時のリスクマネジメント ～摂食・嚥下障害～

私たちが生活していく中で、大きな楽しみとなる「食事」。

水分や固形物など、

私たちはさまざまな形態の食べ物を

意識することなく、口腔へ運び、胃まで安全に運んでいます。

この一連の機能が摂食・嚥下機能です。

私たち歯科衛生士が行う口腔ケアは、摂食・嚥下機能に

障害を持つ患者さんにも対象となります。

今回は安全にかつ、患者さんに安心してケアを受けていただくために、

必須となる摂食・嚥下についてご紹介いたします。

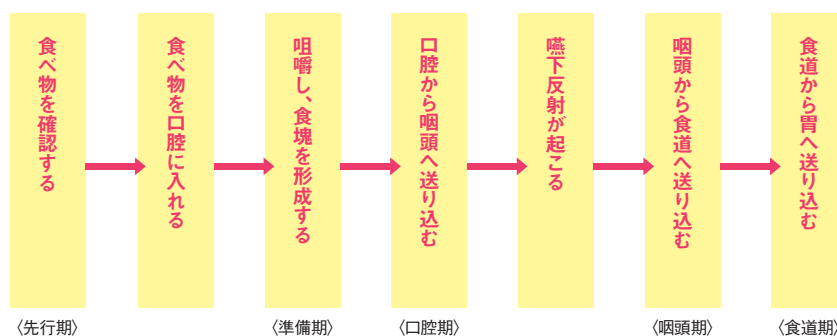


知っておきたい 摂食・嚥下の基礎知識

摂食・嚥下とは

食べ物を口腔から食道へ運ぶまでの一連の流れを指します。この一連の流れは、食べ物を確認する「先行期」、口腔へ食べ物を取り込み咀嚼し、飲み込める状態に食塊形成する「準備期」、口腔からのど（咽頭）へ送り込む「口腔期」、咽頭から嚥下反射が起こり気道へ食べ物が入ることなく食道へ送り込む「咽頭期」、そして食道から胃に送り込む「食道期」までの連続した運動です。普段私たちは、この複雑な動作を無意識のうちに瞬時に行っています。

摂食・嚥下の流れ



摂食・嚥下障害とは

摂食・嚥下機能の低下、すなわち食べ物を認識し、口腔から胃まで送り込む機能の障害を意味します。口腔期・咽頭期の機能が障害されると、食べ物を正常に胃まで送り込めずに、食べ物が誤って気道のほうへ入ってしまうことがあります。通常、気道に食べ物が入り込みそうになると「ムセ」が起こり、排出しようと防御反応が起こります。これを咳嗽反射といいます。この咳嗽反射が起こらずに完全に食べ物が気道へ入り込んでしまうことを誤嚥といいます。誤嚥は、日本人の死因第3位にもあげられる肺炎と深く関わ

ります。誤嚥が原因となる肺炎は誤嚥性肺炎といわれ、広く知られてきました。また、誤嚥性肺炎の予防に口腔ケアが効果的であることも、医療や介護の現場では一般的となってきました。

しかし、誤嚥性肺炎を予防する手段のひとつとして実施する口腔ケアでは、誤嚥しやすい水などを頻用します。そのため、摂食・嚥下障害に対しても配慮した口腔ケアを実践することが、質の高い口腔ケアの実現のために必要不可欠といえます。

ケア介入する前に確認！「聞く・見る」



■「最近食事中にむせる」「飲み込みづらい」

日頃より、患者さんが発信しているSOSをしっかりキャッチすることが大切です。高齢者や肺炎を繰り返している患者さんに対しては、患者さんからの訴えがなくてもケア開始前に「食事の状況」や「飲み込み」について問診をし、安全なケアのために備えることが大切です。

■スクリーニングテスト

嚥下機能を評価する簡単なスクリーニングテストとして、水飲みテスト、反復唾液嚥下テスト、フードテスト、頸部聴診などがあげられます。中でも反復唾液嚥下テストは、唾液を嚥下してもらい、30秒間で何回嚥下できるかテストします。嚥下回数が30秒で2回以下が異常とされます。特別な物品などが不要で、場所を選ばないため、ベッドやチェアサイドでも簡単に実施できます。

ただし、正確な評価には専門医受診による嚥下評価のための検査（嚥下造影検査や嚥下内視鏡検査）が必要となります。

■口腔機能の評価

嚥下機能を評価し把握することも大切ですが、嚥下できる状態まで食べ物を咀嚼し、送り込むという口腔機能に問題がないか評価することも大切です。「歯や義歯が食べ物を咀嚼できる状態なのか」「舌の動きはよいか」「唾液は出ているか」など、患者さんの口腔内を器質的そして機能的に確認し、改善できる点がないか評価します。



ケア時の注意点

■姿勢は大丈夫ですか？

仰臥位は誤嚥しやすい体位となります。そのため、ケア開始前に誤嚥しにくい姿勢を確保することが大切です。身体の移動が可能であれば、枕を立てるなどして頭を前屈したり（図4）、身体を横に向け体幹が安定するよう固定した側臥位（図5）にします。片麻痺などがある患者さんを側臥位にする際には健側を下方にします。また背を起こすことが可能であれば、患者さんの負担にならない範囲で背を起こします（図6）。座位が保てる患者さんは座位でケアを実施しましょう。



図4：頭部の前屈



図5：側臥位

■水の取り扱いに注意していますか？

ケア実施時には水を使用します。歯ブラシやスポンジブラシに付着している余分な水気は切ってから口腔内で使用するようにします。

■吸引できていますか？

吸引器の併用により、確実に口腔内に残留した水分を回収できます。口腔ケア時にも、吸引器を上手に併用し誤嚥対策を実施することが大切です。



図6：ギャッジアップ

編集部からのコメント

保湿剤やスポンジブラシの使用方法については、バックナンバー（Vol.19,20）にてご紹介しています。併せてご参照ください！

在宅医療におけるチームアプローチの必要性

多職種による口腔ケアを
円滑に進めるために

普段から医師や看護師など多職種の人たちと連携してご活躍されている
歯科衛生士の山口朱見さんに、在宅でのチーム医療において口腔ケアを円滑に進めるには、
どのように協働したらよいのか、そのチームアプローチについてお話を伺いました。

医療法人財団 千葉健愛会

あおぞら診療所

松戸市南部の医療圏にて、往診・訪問診療を行っている。「臨床」の他に「連携」「教育」「研究」に取り組んでおり、地域の病院、診療所、歯科診療所、訪問看護ステーション、介護施設などのスタッフなどと協働しながら、在宅療養支援の実践に力を注いでいる。

■千葉県松戸市緑ヶ丘 2-357

TEL: 047-369-1248

URL: <http://aozora-clinic.or.jp/>すべての在宅患者さんに
歯科の関わりが必要

これまで在宅訪問診療に同行され、口腔の状況を診てきた患者さんはどのくらいの人数になりますか。

山口●あおぞら診療所では平成23年4月から歯科衛生士が医師の往診に同行し、口腔内の状況や食事の様子を拝見して、口腔、嚥下機能のアセスメントをしています。当院では常時200人程度の患者さんの訪問診療を行っており、これまでに延べ463人の方の口腔を診せていただきました。疾患の進行や体調とともに変化する口腔内の現状を把握しておく、今後どのような歯科治療や口腔ケアが必要になるか、ある程度の予想が可能となります。そのため、在宅医療においては、早い段階で口腔の情報を得ておくことが重要だと感じています。

歯科の介入が必要とされる在宅患者さんは、どのくらいの割合でいらっしゃいますか。

山口●お口を拝見すると、よくない状態で放置されていることが多く、歯科治療が必要な方や継続した口腔ケアが必要と思える方がたくさんいらっしゃいました。

今まで拝見した方463人中152人に対し

て新たに歯科診療や継続した口腔ケア（口腔清掃、口腔内・口腔周囲マッサージ、摂食・嚥下リハビリテーションなど）を開始し、アセスメント前から訪問歯科治療を受けていた方83人と合わせ、235人（50.8%）の方に訪問で歯科に関わるに至っています。

さらに、食べる姿勢や食事の形態を工夫するなどの食支援を行えば、もっと上手に食べられるようになると推測される方もいて、こうした食支援を必要とする方を含めると、在宅医療においてはほとんどの方に歯科の関わりが必要であるといえます。

食支援として、歯科だけでなく
多職種による対応が必要

訪問歯科における歯科衛生士の仕事について、どのようにお考えですか。

山口●「口腔清掃」に加え、食べることに関わるすべてを診ていく「食支援」を行うことが、訪問歯科衛生士の仕事だと思っています。

地域には、ケアマネジャー、医師、看護師、ヘルパー、通所介護スタッフなど在宅患者さんを支えている人たちがたくさんいます。訪問歯科衛生士が単独でできることは限られますので、最良の食支援を行うには、こう

した人たちと連携して進めていく必要があるのです。当院では、毎朝夕に医師、看護師、MSW、事務スタッフ、歯科衛生士でカンファレンスを実施しています。それぞれの患者さんについて多職種で情報を共有して診療やケアを行っていきます。また、患者さんの口腔、摂食・嚥下機能の状態はアセスメントシートに平易な言葉で書き込み、情報共有のひとつの方法としています。

歯科の介入が必要な場合には、どのように対応していращやるのですか。

山口●在宅の患者さんの口腔を拝見し、「支援が必要」と判断しても、直ちに歯科が介入できないこともあります。患者さんの全身状態や生活、介護の現状を見て、いつどのような支援が必要なのか、その場の状況を把握したうえでの適切な判断が求められます。例えば口腔に重要な問題があっても原疾患の対応が先で、歯科の介入はその後になるケースもあります。歯科が直ちに介入したほうがよいと判断した場合は、在宅主治医から必要性を説明、歯科介入をおすすめします。しかし、ケースによっては歯科介入するよりも、訪問看護師やヘルパーに口腔ケアをお願いするほうがスムーズにいく場合や、ご家族の協力度が高くご家族への指導で、よい口腔状態が維持できる場合もあります。患者さんごとにどんな介入の仕方がベストなのか、ご家族とも相談をしながら進めています。ご家族への説明が難しい時期であれば、状況が落ち着くのを待ち、再度お話しに行くこともあります。

口腔ケアの具体的な方法を
多職種の人に伝える

多職種の人たちには、口腔ケアは現状でどの



医療法人財団 千葉健愛会
あおぞら診療所 歯科衛生士

山口朱見さん

医師の往診に同行して、歯科の介入が必要な患者さんを、地域の歯科医師や多職種の人たちへつなげる仕事をしています。口腔と食べるものの問題については自分の仕事の範疇と考え、チームで口腔ケアを進めています。



表面

裏面

◀ 作成した摂食・嚥下機能評価のアセスメントシート。平易な言葉で書き込み、歯科専門職でなくても問題点を理解でき、情報を共有できるようにしている。

表面：歯科における問題点、歯科介入の必要性、期待される効果、主たる病名、栄養摂取方法、栄養状態、誤嚥性肺炎リスク、その他関連する医学的問題点、家族の介護力・理解力、経済事情などの項目。

裏面：看護師から見た口腔に関する問題点、日常の口腔清掃について、嚥下リハビリについて、担当ケアマネジャー、訪問や通所予定、連絡先などの項目を歯科衛生士が記入し、口腔内の写真撮影が可能であれば添付し、診療所のカルテに入れている。



▲ 在宅訪問時に持参するかご。口腔ケア用品のほかに、とろみ剤やゼリーなどの食品、リハビリテーション用の小物も入れ、即座に対応できるようにしている。

程度理解されているでしょうか。

山口●「口腔ケアによって誤嚥性肺炎を予防できる」ことが広く知られるようになり、最近は口腔ケアの重要性が理解されるようになっていきます。その点では以前と比べ、歯科衛生士は口腔ケアの仕事がしやすくなっていると思います。しかし、「口の中をどんな状態に改善すればよいのか」「どのように口腔ケアを実施したら、さらに食べられるようになるのか」など、具体的なことについてはわからないのが現状だと思います。口腔ケアを引き継いで実践していただくには、口腔の見方や口腔ケアの実践方法について、多職種の人たちに対し啓発していく必要があると思っています。

他の人の仕事を知り 患者さんの背景を知る

チームで上手に連携をとるために心がけていることは？

山口●顔を合わせるチャンスをたくさん作り、密にコミュニケーションをとるように心がけています。そのためにも、相手がどんな仕事をしているのかを知ることから始めるとよいと思います。私の場合、診療所看護師の同行はもとより、関わりのある訪問看護ステーションの訪問看護の際に同行させてもらうなどして、顔を合わせるチャンスを積極的に作り、仕事を見せてもらうようにしています。仕事の場を見ると、相手がどれだけ大変な仕事をしているのかを理解できます。それを理解したうえで、口腔ケアを行う余力があるのか、どのようにしたら時間を作れそうなのかを見ながら、方法を探そうにしています。他の職種の人に「口腔ケアをしてほしい」と思う前に、「自分が

何か手伝えることはないのか」と考えることが重要です。顔見知りになり、お互いの仕事の状況を理解して相談をすれば、最良の食支援へ向けて、よりよい方法を探し出せるだろうと思います。

チームで口腔ケアを進めるに当たり、どんな情報を共有しておくといいですか。

山口●特に在宅医療では、患者さん、ご家族の考え方や生活に合わせた介入やケア方法を考え提案していく必要があります。チームで患者さんご本人の情報を共有するのはもちろんですが、口腔ケアの背景となる情報を共有しておくといと思います。つまりご家族がどのような生活を送り、どのような考えを持っているのか、口腔ケアの必要性についてもどのように理解しているかなどの情報を共有し、そこから誰がどのように口腔ケアを行っていくのがよいかをチーム内に提案し、後で具体的ケア方法を伝えるようにしています。

必要な時に声をかけ合える 協働関係を築く

協働がうまく進むと、どんな関わり方ができるようになるでしょうか。

山口●例えば全身状態の急変により口腔ケアが困難になった場合や、口腔がんの患者さんなど専門的な知識が必要な場合があれば、「口腔ケアの方法を教えてください」と連絡が入るようになります。

このような時は訪問看護に同行して、口腔ケアの方法を具体的に伝えて、その後は引き継ぎます。必要な時に歯科衛生士を呼んでもらえ、ケアを引き継いでもらえる、そんな信頼関係が築けたら、いいチーム医療といえるでしょう。

在宅訪問診療に出る前に必要な知識は、どのように身につけたらいいですか。

山口●各地で開催されている在宅医療に関する研修会や講習会に積極的に参加して、知識を身につけておくといと思います。また、現場にふれることが一番の早道だと思います。可能であれば、高齢者の方の様子や訪問歯科診療や口腔ケアを見学させてもらうのもよいでしょう。

訪問歯科衛生士を目指す人へ、アドバイスををお願いします。

山口●もっと多くの歯科衛生士さんに、訪問歯科衛生士として活動してほしいと思います。その際、患者さんのご自宅へ入っていくわけなので、相手の体調や感じていることに配慮して行動していくことが重要です。治療は大事ですが、まず一番に心がけたいことは患者さん、ご家族、関わる多職種の方々との信頼関係を築くことだと思います。口腔ケアで訪問しても、話を聞いてほしいような患者さんがいたら、口腔ケアは次回にまわして、話を聞いて体をさすだけで帰ってくることもあるかもしれません。患者さんから「もう1回来てほしい」と思われる信頼を得られる存在になり、患者さんのQOL向上に貢献できることを期待しています。

取材を終えて

今回は在宅現場で活躍される山口さんにお話を伺いました。一人でも多くの患者さんが最後まで口から食べる喜びを味わっていただけるよう、山口さんは今後歯科衛生士の活躍に期待したいと思います。(T)



カリスマDHが
教える

満足度を高める 接客のヒント

歯科衛生士にとって、技術と同じくらい重要だともいえるのが、患者さんとのコミュニケーション技術。
在宅訪問ケアでは、患者さんご本人だけでなく、介護されているご家族とのコミュニケーションも重要になります。



指導：歯科衛生士
沢口由美子さん

さわぐち・ゆみこ／1959年東京都生まれ。1998年に長男を出産し、子育てをしながらフリーランスの歯科衛生士として活躍。「亡くなる前日まで、臨床で仕事をしていたい」というほど、DHの仕事に誇りと愛情を抱いている。DHのレベルアップのためのセミナーも多数行う。共著に『継続通院したくなる歯科医院のスタッフ育成計画』（わかば出版）など。





よいケアを提供するには、 まずご家族との信頼関係から

歯科衛生士は、その場で口の中をきれいにしてあげることができますが、その患者さんと毎日接しているのは、介護をしているご家族です。特に、患者さんがご自身で口腔ケアを行うことが難しい状況の場合、患者さんの口腔環境を守るためには、まずご家族との信頼関係を築き、ご家族に口腔ケアの重要性を理解してもらって、毎日のケアに対するモチベーションを高めてもらうことが大切です。

ご家族は、日々の介護だけで手いっぱい、なかなか新しいことまで手がまわりません。まずはその大変な状況を理解して、ねぎらう気持ちを伝えましょう。



生活空間に踏み込むことに 十分な配慮をもって

私たち歯科衛生士にとって、ご自宅を訪問することは、専門職として職務を果たす行為であり、個人的な感情はありません。しかし、ご家族の側から考えると、訪問診療を受け入れるということは、プライベートな生活空間に他人が踏み込んでくるという状況でもあります。介護で忙しいために掃除が十分に行き届かないこともあり、「家の中を見られたくない」という抵抗感がある方も少なくありません。特に水まわりは生活色が濃い場所で、台所ならくても洗面所は嫌、という方もいるので、どちらがよいかを確認する、事前に使わせてほしいと連絡しておくなど、ご家族の気持ちに配慮しましょう。

11 先輩、この間訪問した患者さんのことなんですけど……。

12 ご家族に、口腔ケアの重要性を理解いただけていないようで、訪問の頻度を増やせないかと思って……。

13 訪問診療では、ご本人だけでなく、ご家族との信頼関係がとても大切なの。

14 介護で疲れてしまって余裕がない方が多いのよ。
たしかに疲れた顔してた……。

15 掃除まで手がまわらないこともあるし、家の中に他人を入れることに抵抗がある人もいるの。
そういえば……

16 ご家族の気持ちに配慮することが、患者さんのためにもなることなのよ。
なるほど！

17 訪問診療って、クリニックの診療よりも難しいんですね……。

18 いえ、ご家族に信頼してもらえるように、がんばります！
エミちゃんがんばって！

高齢者の訪問診療の注意点

- 患者さんご本人だけでなく、介護しているご家族の思いも尊重する
- まず介護の負担で疲れている状況を受容して、口腔ケアの重要性だけを押しつけないようにする
- 「お仕事もされながら大変ですね」「よいケアをされていますね」とねぎらう言葉をかける
- 水まわりをお借りするときは、台所と洗面所のどちらがよいかを確認し、できればご家族がさっと片づけられる程度の間をとる

「バトラー 口腔ケアシリーズ」

お口の中の保湿と低刺激で、やさしいケア。

乾燥したお口をしっとり保湿します。



バトラー ジェルスプレー 50mL

乾燥したお口にシュッとひと吹きでうるおいを 口腔保湿液

- お口にとどきやすいマイクロゲル製剤：
液状なのに、たれにくい。
- 手軽に使えるスプレータイプ：
直接お口に塗布でき、携帯性に優れる。
- トウモロコシやタピオカ由来の保湿成分「Tornare®」を配合：
お口の粘膜の高い保湿力が持続。

歯みがきの刺激に
弱い方でも安心して
ご使用いただけます。



バトラー マイルド ペースト 70g

薬用 医薬部外品

敏感なお口をやさしい
泡立ちですっきり洗浄

- 低刺激性。やさしい泡立ちと、
ほのかなミントの香り：
荒れた粘膜にもしみにくい。
お口をすっきりと洗浄。
- ムシ歯を防ぐフッ素を配合
- 「Tornare®」(湿潤剤)を配合



バトラー マウスコンディショナー 250mL

乾燥したお口をクチュクチュ洗浄でさわやかに 希釈タイプの保湿洗口液

- うすめるタイプの洗口液：本品1本で約50回使用できて経済的。
- ほのかなミントの香りがするノンアルコールタイプ：
低刺激性で、使用感もすっきり。
- 保湿成分「Tornare®」、キサンタンガムを配合：
お口の粘膜の高い保湿力が持続。

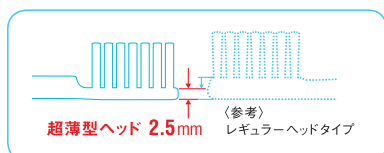
粘膜や歯ぐきに
やさしいハブラシです。

バトラー #03S 1本入

超薄型ヘッド
スーパーウルトラソフト毛

やわらかハブラシ

- 弾力性に優れたスーパーウルトラソフト毛 (4mil)：
荒れた粘膜や歯ぐきにやさしい。
- 薄さ2.5mmのコンプリートヘッド：
奥の狭い部位もみがきやすく、操作性が高い。



高い清掃力で、
口腔内をより清潔にします。

バトラー スポンジブラシ

口腔ケア用

個包装 10本入
個包装 50本入

お口の汚れをやさしく、しっかり取り除く

粘膜ケアスポンジブラシ

- きめが細かくやわらかいスポンジ：
弱ったお口の粘膜をやさしく清掃。
- スポンジの独自なカット形状：
すみずみまで、汚れを取り除く。
- 水に強いプラスチック製の軸



スポンジ部
横断面



バトラー うるおい透明ジェル

口腔内に広げやすい粘度と、高い水分保持力を実現。
トラブルなどで口腔内が乾燥する方のケアに適しています。

お口の乾燥が気になる方に。
お口を長時間あけている方に。

バトラー うるおい透明ジェル 65g

口腔内にやさしく広げやすい粘度と、
高い水分保持力

口腔保湿ジェル

- つけやすさと広がりの良さを同時に実現させ、使いやすい：
口腔内のためのマッサージのときにも、お使いいただけます。
- 保湿剤として加水分解水添デンプンとイノシトールを配合：
口腔内に、やさしいほのかな甘みの“うるおい”が長続きます。
高い水分保持力で、残渣も残りにくいです。



バトラー クリーンマウスウォッシュ

いろいろな場面の「口腔ケア」に便利な、コンパクト希釈タイプの洗口液。
口腔内の細菌を長時間効果的に殺菌します。

お口のねばつきや
口臭が気になる方に。

バトラー クリーンマウスウォッシュ 80mL

殺菌剤CPC配合で、
コンパクト希釈タイプの洗口液

薬用 医薬部外品

- 殺菌剤CPC（塩化セチルピリジニウム）配合で、口腔内の細菌を効果的に殺菌し、菌の繁殖を長時間抑制：
口臭を防ぎ、口腔内を清潔に保ちます。
- さわやかなミントの香りでお口の中をすっきりさっぱり洗浄：
粘膜への刺激を抑えた低刺激処方。
- 薄めるタイプの洗口液なので経済的

計量カップ付



第4回サンスター財団「世界歯科衛生士賞」 論文募集のお知らせ

サンスター財団が主催する「世界歯科衛生士賞」は、歯科・歯科衛生士のコミュニティやその仕事、あるいは一般社会へ多大な貢献をした歯科衛生士を表彰するものです。歯科衛生士の免許・資格を持つ方、歯科衛生を学ぶ学生なら論文を応募できます。受賞者には賞金と記念トロフィー、2016年度歯科衛生シンポジウムへの旅費が授与されますので、皆様のご応募をお待ちしております。

目的

サンスター財団は、歯科衛生の技術や患者・地域・一般社会に顕著な貢献をした歯科衛生士を表彰する目的で、世界歯科衛生士賞を創設しました。

賞について

世界歯科衛生士賞は、3年に1度、独立した選考委員会が選出する個人または団体に対して贈呈されます。2016年の賞への応募は2014年1月から2015年12月まで受け付けます。応募は本人が提出すべきものとし、第三者からの応募は受付不可です。基準を満たし、期日までに提出された有効な応募は、すべて執筆者を伏せた上で審査委員会の検討・審査に回されます。

授賞部門 ならびに 選考基準

① **研究部門**／歯科衛生の知識体系に寄与する重大な新しい知見を備えた、量的・質的いずれの分析を含む応募でも可能です。本部門の受賞論文は、未発表で原著の研究論文の中から選考委員会によって選ばれます。

② **活動・プロジェクト部門**／患者・地域・一般社会に重要な貢献をした活動について、その詳細を記載して応募してください。活動が多くの人々の健康に与えたプラスの効果を、実証的に示すようにしてください。この賞は、相談・教育・改革・予防・治療など、口腔衛生推進の何らかの分野で優れた成果を挙げた歯科衛生士の個人および団体が対象となります。衛生の改善を実証するような、測定可能な形での成果が記載されていなければなりません。

③ **学生研究部門**／歯科衛生の知識体系に寄与する新しく重大な知見を備えた、量的・質的いずれの分析を含む応募でも可能です。本部門の受賞論文は、未発表で原著の研究論文の中から選考委員会によって選ばれます。

④ **学生活動・プロジェクト部門**／患者・地域・一般社会に重要な貢献をした活動について、その詳細を記載して応募してください。当該活動が多くの人々の健康に与えたプラスの効果を、実証的に示すようにしてください。この賞は、相談・教育・改革・予防・治療など、口腔衛生推進の何らかの分野で優れた成果を挙げた、歯科衛生を学ぶ学生の個人および団体が対象となります。衛生の改善を実証するような、測定可能な形での成果が記載されていなければなりません。

選考委員会は、すべての部門において、先に挙げた基準に応募が満たさない場合には賞の授与を行わない権利を留保します。

賞の内容

受賞者には賞金が授与されると共に、更なる調査・研究を支援する目的で、受賞者が指定するプロジェクトまたは歯科衛生プログラムに受賞者名義で寄付金が支給されます。歯科衛生国際シンポジウム(ISDH)において各部門にトロフィーが贈呈されます。サンスター財団は、各受賞部門の代表者1名に、ISDHへの全面参加のための費用を負担いたします。支給する旅費についてはサンスター財団が決定します。受賞者は旅行の全手配を行う責任を有します。賞金は以下の通り分配されます。

研究部門 5,000ドル

- 受賞者に3,000ドル支給
- 受賞者が選ぶ歯科衛生プログラムに受賞者名義で2,000ドル寄付

活動・プロジェクト部門 3,000ドル

- 受賞者に2,000ドル支給
- 受賞者が選ぶ地域プロジェクトに受賞者名義で1,000ドル寄付

学生研究部門 2,000ドル

- 受賞者に1,500ドル支給
- 受賞者が選ぶ歯科衛生プログラムに受賞者名義で500ドル寄付

学生活動・プロジェクト部門 2,000ドル

- 受賞者に1,500ドル支給
- 受賞者が選ぶ歯科衛生プログラムに受賞者名義で500ドル寄付

授賞式は、歯科衛生国際シンポジウム(ISDH)の一環として開催されます。各部門受賞者の代表1名が式典出席の義務を負います。各受賞部門の代表者1名にはISDHの席上で論文を発表して頂きます。受賞者代表には、必要に応じてISDHにてサンスター社員と面会し、発表に先立って各プログラムのリハーサルや見直しを行って頂きます。サンスターは、競合製品の宣伝となる内容や本質的に営利目的の内容について、これを削除する権利を留保します。

その他、資格条件、提出の必須条件、選考、受賞者の発表等につきましては、下記URLからご確認ください。

<http://www.sunstar-foundation.org/index2.htm>

応募締切 2015年12月31日 (必着)

第4回サンスター財団 世界歯科衛生士賞

今までに歯科衛生において何か貢献したり、
周りの人に役に立つプロジェクトに参加した経験は
ありませんか？

サンスター財団はそんなあなたの取り組みを応援します！

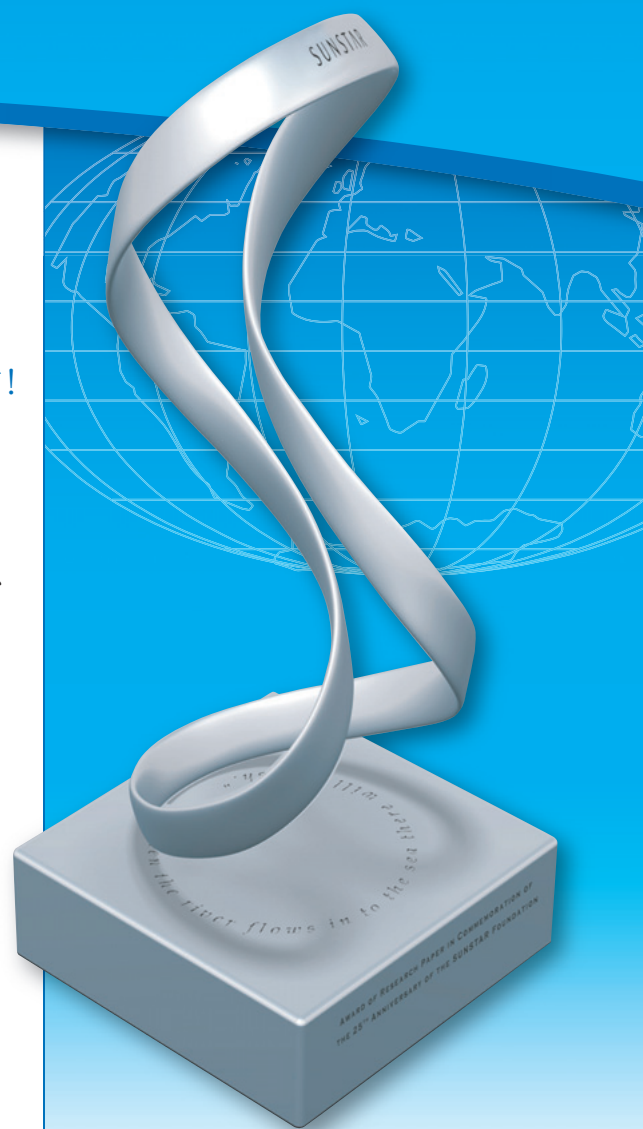
サンスター財団が主催する世界歯科衛生士賞は、歯科・歯科衛生
のコミュニティやその仕事、あるいは一般社会へ多大な貢献をした
歯科衛生士を表彰するものです。歯科衛生士の免許・資格を持つ人、
歯科衛生を学ぶ学生なら応募できます。受賞者には、賞金と記念
トロフィーに加え、2016年度歯科衛生シンポジウムへの旅費が授与
されます。詳しい内容と応募要項は、www.sunstarawards.com
をご覧ください。

授賞部門

- ・ 研究部門：5,000ドル
- ・ プロジェクト部門：3,000ドル
- ・ 学生研究部門：2,000ドル
- ・ 学生プロジェクト部門：2,000ドル

授賞式

授賞式は、2016年6月23～25日にスイス・バーゼルで開催される
国際歯科衛生士連盟(IFDH)第20回シンポジウムで行われます。
シンポジウムの詳細は、IFDHに直接お問い合わせください。
(www.ifdh.org)



SUNSTAR

G·U·M

BUTLER

GUIDOR

www.sunstar.com



口腔ケアにもコミュニケーションスキルが必要！



口腔ケアは患者さんにとって本来、気持ちがいいと感じていただけるケア。
患者さんに心地よくケアを受けていただくためにも、コミュニケーションをしっかりとることが大切です。

口腔ケアを実施する前に…

いきなり口腔へ保湿剤や歯ブラシを入れては、患者さんへ緊張感や不信感を与えてしまいます。初めて担当するという場合、まずは自己紹介から始め、患者さん、そして周囲の方々との信頼関係の構築に努めましょう。

気をつけたいポイント

- ☒ 身なりを整える
- ☒ マスクを外す
- ☒ 優しく落ち着いたトーンで話す
- ☒ 相手が話しているときは、しっかり聞く



Information

お便り
お待ちしております！



● 皆様の輪がどんどん広がる 「歯っピースマイルクラブ」

「歯っピースマイルクラブ」では皆様からの投稿をお待ちしております！ 日々のお仕事や、診療室での出来事、今号の記事についてなど、あなたのご意見・ご感想をお聞かせください。

● 便利な読者登録 購読無料

読者登録用紙にて「歯っピースマイルクラブ」の読者登録ができます。ご登録いただいた方には、最新号を定期的に送付いたします。
なお、1度ご登録いただいた方は再度ご登録する必要はありません。

お便りの応募・読者登録はこちらまで

FAX 072-684-5669

受付時間24時間

※ 専用のFAX用紙を利用されますと便利です。

郵送でも
受け付けて
おります。

〒569-1133 大阪府高槻市川西町1丁目35-10 サンスター株式会社
「歯っピースマイルクラブ」係

サンスター歯科用商品は、歯科流通業者様よりご購入いただけます。
今後ともご愛顧賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。